

報告：原発問題をめぐる全体状況

◎第 69 回脱原発八千代ネットワーク

2018 年 4 月 28 日 川井康郎

1. フクシマの状況

- (1) 汚染水問題は解決せず。凍土壁の効果も疑問。除去が困難な放射性トリチウムを含んだ汚染水の総量は約 110 万トンに達した。海洋放出をさせてはならない。

2. 原子力規制と再稼働の動き

- (1) 現在稼働している原発は 3 原発 4 基

- ・玄海③：3/23 に再稼働したが、配管腐食による蒸気漏れで停止（3/30）。補修後 4/18 に運転再開した。
- ・高浜③④、大飯③

再稼働後に停止している原発

- ・川内①：定期検査中。6 月上旬に再稼働予定。
- ・川内②：4/23 に定期検査のため停止。蒸気発生器を交換予定。
- ・伊方③：2017.12.13 広島高裁の差し止め仮処分により停止

- (2) 11 月に運転開始から 40 年を迎える東海第二原発は新規規制基準ならびに運転延長審査中。安全対策費 1740 億円の調達が困難な状態だが、東電と東北電力が支援を表明。実質破たん状態の東電による支援には批判が大きい。

- (3) 各原発における使用済み燃料の保管余裕が限界に近づいている（右表）。これは、六ヶ所村再処理工場への送り出しが不可能となっているため。関電は和歌山県白浜町に中間貯蔵施設を計画？

電力会社	原発	号機	残り年数
関西電力	大飯	3号	6.1
		4号	5.1
	高浜	3号	7.9
		4号	5.1
四国電力	伊方	3号	10.2
	玄海	3号	3.5
九州電力	川内	1号	10.1
		2号	6.0
東京電力	柏崎刈羽	6号	0.9
		7号	0.4
	美浜	3号	10.3
関西電力	大飯	4号	7.3
		1号	1.6
高浜	2号	2号	3.3
		3号	3.3
九州電力	玄海	4号	2.7

※各社への取材を基に試算。2018年3月現在。大飯4号と玄海4号は5月に再稼働予定

3. その他のトピックス

- (1) 原子力規制委員会は、日本原燃による保守トラブル続きで中断していた六ヶ所村再処理工場の新規規制基準審査の再開を表明。原燃による補正書提出待ち。
- (2) 4/18 柏崎刈羽原発の再稼働に慎重な姿勢であった米山新潟県知事が女性問題による辞職を表明。知事選は 5/24 告示、6/10 投開票に決定。
- (3) 4/20 北朝鮮は核実験と ICBM の試験発射中止を表明。
- (4) 千葉県鴨川市で 130MW の巨大メガソーラーを計画（事業者：AS 鴨川ソーラーパワー合同会社、埼玉県川口市）。286ha におよぶ森林が破壊される。現在、森林法に基づく開発許可審査中。
- (5) 4/24 伊藤忠はトルコで進めている原発事業計画（4 基、450 万 kW）からの離脱を表明。総事業費が倍以上となる見込みのため。MHI は検討継続中。